

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	プログラミング言語	
科目基礎情報							
科目番号	0191			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	やさしいC						
担当教員	金 帝演						
到達目標							
プログラミングの概念を理解し、分岐・ループ・配列・関数などのC言語の基本概念を理解し、それらを利用したプログラムが記述出来るようになる。そして、問題が与えられた時に、それを解くためのプログラムを作成するまでの一連の動作を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	プログラミング言語の仕組み、プログラムの作成から実行までの手順をC 言語をとおして学習する。C 言語の基本的構文を学習し、簡単なプログラムの作成を実習する。						
授業の進め方・方法	講義と実習を交互に行い、パソコンを使って実際にプログラミングを経験することで理解を深める。						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	C言語の基本		C 言語の基本を学び、自分の名前をディスプレイに表示するプログラムを作成できる。		
		2週	変数		変数、識別子、型		
		3週	変数		変数の宣言、利用、キーボードから入力		
		4週	式と演算子		式と演算子、演算子の種類		
		5週	式と演算子		演算子の優先順位、型変換		
		6週	場合に応じた処理		関係演算子と条件、if文		
		7週	場合に応じた処理		if ~ else文、if~else if ~ else文		
		8週	場合に応じた処理		switch文		
	2ndQ	9週	中間試験				
		10週	何度も繰り返す		for文		
		11週	何度も繰り返す		while文、do-while文		
		12週	何度も繰り返す		文のネスト、処理の流れの変更		
		13週	配列		宣言と利用、記述のしかた、配列のアドレス		
		14週	配列		応用（配列のコピー、多次元配列）		
		15週	配列		文字列と配列		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	プログラミング	変数とデータ型の概念を説明できる。		4	
				代入や演算子の概念を理解し、式を記述できる。		4	
				制御構造の概念を理解し、条件分岐や反復処理を記述できる。		4	
				与えられた問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。		4	
				ソフトウェア生成に必要なツールを使い、ソースプログラムをロードモジュールに変換して実行できる。		2	
				主要な言語処理プロセッサの種類と特徴を説明できる。		1	
				ソフトウェア開発に利用する標準的なツールの種類と機能を説明できる。		1	
				要求仕様に従って、標準的な手法により実行効率を考慮したプログラムを設計できる。		3	
		計算機工学	基本的な論理演算を行うことができる。		3		
		その他の学習内容	メディア情報の主要な表現形式や処理技法について説明できる。		3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0